

令和2年第9回 網走市教育委員会会議録

令和2年11月24日（火）午後1時30分 西庁舎2階会議室に招集した。

1. 出席した委員は次のとおりである。

教育委員 富永 雄一 ・ 中山 真弓 ・ 伊藤 亮人（欠席：益村 公人）
教育長 三島 正昭

2. 会議の議案は、次のとおり。

議案第1号 令和2年度一般会計補正予算要求について【非公開】【原案可決】
議案第2号 網走市公の施設に係る指定管理者の指定について【非公開】【原案可決】
報告第1号 成人式について【公開】【報告承認】
報告第2号 網走市電子図書館サービス開始について【公開】【報告承認】
報告第3号 SOMPOボールゲームフェスタ2020イン網走について【公開】
【報告承認】
報告第4号 「あばしりまなび塾フェスティバル」10年後へのメッセージ紛失に
ついて【公開】【報告承認】
報告第5号 学校給食について【公開】【報告承認】

3. 説明のため出席した者は、次のとおり。

学校教育部長 林 幸一
社会教育部長 吉村 学
学校教育部次長 小路谷 勝巳
社会教育部次長 岩本 博隆
学校教育課長 小松 広典
社会教育課長 岩尾 弘敏
スポーツ課長 阿部 昌和
図書館長 本橋 洋樹

4. 会議の書記は、次のとおり。

学校教育課庶務係長 高木 力

5. 会議の署名委員は、次のとおり。

本日出席委員全員及び教育長

三島教育長

ただ今から、令和2年第9回網走市教育委員会を開会いたします。
本日の出席委員は、教育委員3名と教育長が出席しております。益村委員からは欠席と連絡がありました。
本日の会議録署名委員の指名ですが、出席をされている委員全員と教育長といたします。

本日は、議案2件、報告5件でございますが、審議に入る前に、教育委員会会議規則第12条のただし書きに定められております非公開案件とすべき事項について、お諮りをいたします。

本日の議案第1号「令和2年度一般会計補正予算要求について」及び議案第2号「網走市公の施設に係る指定管理者の指定について」は、「議会へ提出前である」議案であるため、この案件について、非公開とすることで、ご異議ございませんか。

(「ありません」の声)

異議なしと認めまして、議案第1号及び議案第2号につきましては、非公開案件と決定させていただきます。

それでは、本日の議題に入ります。

非公開案件であります議案第1号「令和2年度一般会計補正予算要求について」を上程いたしますので、事務局から説明をお願いいたします。

学校教育課長。

【非公開案件】

三島教育長

引き続きまして、補正予算中、議案第2号「網走市 公の施設に係る指定管理者の指定について」、関連がありますので説明をお願いします。

スポーツ課長。

【非公開案件】

三島教育長

それでは、お諮りいたします。議案第1号につきまして、原案のとおり決定することに、ご異議ございませんか。

(「ありません」との声)

異議なしと認めまして、本案は原案のとおり決定させていただきます。

次にお諮りいたします。議案第2号につきまして、原案のとおり決定することに、ご異議ございませんか。

(「ありません」との声)

異議なしと認めまして、本案は原案のとおり決定させていただきます。

次に、報告第1号「成人式について」を上程いたしますので、事務局から説明をお願いいたします。

社会教育課長。

岩尾社会教育課長

報告第1号、成人式について、ご説明いたします。

議案書の8ページをご覧ください。

令和3年網走市成人式については、来年1月10日、日曜日、午後1時から開催いたします。会場については例年エコーセンターで開催しておりますが、新型コロナウイルス感染拡大防止対策のため、収容人数の多い網走市民会館の大ホール、固定席で913席ございますが、そこで開催します。

対象者については、令和2年度において20歳に到達する市民で、12月1日時点で住民登録のある方に案内を送ります。住民登録のない方についても、ご連絡いただければ案内することとしております。現在、約380名としております

内容については式典のみの開催といたしまして、例年実施してまいりました交流会については中止いたします。

次に、令和4年度以降の成人式について、令和4年4月1日に成年年齢を20歳から18歳に引き下げる改正民法が施行されることから、令和4年度以降に開催される成人式の参加対象年齢について、検討してまいりました。

その結果、18歳は、受験、進学、就職を控え多忙な時期であり、参加できない方が増えると予想されることや、進学等と重なることで経済的負担が大きくなることなどを勘案し、これまでと同様、参加対象年齢を20歳とする方針を決定し、11月17日の定例記者懇談会において発表いたしました。

なお、令和4年度以降の成人式という名称につきましては、今後検討することとしております。

説明につきましては以上でございます。

三島教育長

ただいま、報告第1号につきまして説明がありますが、これにつきまして、ご質問あるいはご意見がございましたら、お受けしたいと

網走市電子図書館ですが、高齢や仕事などで図書館を利用することが難しい市民や新型コロナウイルス感染症の影響により、来館を控えている利用者に対しての新たなサービスとして、国の交付金を活用して整備を進めて参りました。

この度、図書館のホームページから、パソコンやスマートフォン、タブレットなどを使って読むことができる電子図書館サービスを令和2年12月15日、火曜日、午前10時より開始することといたしました。

利用者の皆さんは、IDとパスワードを取得することで、図書館に来館することなく、24時間「いつでも」、「どこでも」無料で電子書籍を読むことができるサービスです。

IDとパスワードにつきましては、11月30日の網走広報社への折込みを予定しております。別紙1のチラシに記載されている、12月1日、火曜日から事前交付を行う予定であります。

電子書籍の内容ですが、小説、料理、健康、絵本、子育て世代向けの実用書やビジネス書、また、英語の書籍につきましては、日本語で親しまれている絵本の英語版やリスニング機能などのある書籍もあり、家庭での英語の学びに役立つ書籍もあります。

また、音声を読み上げる機能や文字の大きさを変えることができる機能などは、高齢者や目の不自由の方にとって、紙の本とは違った便利な機能の書籍もございます。

このように、幅広いジャンルの電子書籍をオープン時には、約2,000点取り揃え、今年度末までに約3,000点を提供する予定であります。コロナ禍で、自宅で過ごす時間が多くなったことと思われま

す。図書館としましては、この多くなった時間で電子図書館を利用していただき、本に親しみ、読書の楽しさを感じていただければと期待しております。

説明は以上でございます。

三島教育長

ただいま、説明がありました報告第2号につきまして、ご質問あるいはご意見がございましたら、お受けしたいと思

います。
富永委員。

富永委員

新規登録者についてですが、現住所等がわかる免許証などを持っていけば、その場で登録ができるということだと思いますが、IDの発行等については、その場で発行していただける、あるいは後日、郵送になる形でしょうか。

三島教育長

図書館長。

図書館長 新たに図書カードを作っていただくこととなりますので、その際、同時に発行する形となります。

富永委員 同時にIDとパスワードがもらえるということになる。
はい、わかりました。

三島教育長 ほかにございませんか。
中山委員。

中山委員 電子書籍の中で、こういったタイトルの物を入れてほしいという要望を聞いていただけるのかお伺いしたいのですが。

三島教育長 図書館長。

本橋図書館長 電子書籍ですが、全ての本が電子書籍になっているわけではありませんので、ご希望の本が電子書籍化されているか確認しないとけない部分がありますので、大変申し訳ないのですが、希望といいますか、図書館のカウンターで司書の方に、こういう本はありますかという形でお問い合わせいただければ、こちらも本があるかどうかを確認して、もし可能であれば入れていきたいと考えております。

中山委員 わかりました。ありがとうございます。

三島教育長 ほかにございませんか。
伊藤委員。

伊藤委員 多分、市民の方から質問があると思いますが、例えば高齢で借りに行けないから電子書籍を利用したいのだけれども、IDとパスワードの発行に行くのも、まず行けないという声が間違いなくあると思いますが、そういう声にはどのように対応していく予定ですか。

三島教育長 図書館長。

本橋図書館長 想定はされると思いますので、電話などで状況を確認してから、親族やヘルパーの方等、もしこちらにこられるのであれば、本人の身分証などの写しが確認できれば対応していきたいと考えております。
相談を受けて可能であれば、郵送等でも対応していきたいと考えております。

三島教育長

伊藤委員。

伊藤委員

はい、ありがとうございます。

高齢でそこまで行けないということもありますし、高齢で病院受診もコロナ禍で行動抑制で受診を控える方もいる中で、行きたくないという方もいると思うので、柔軟な対応をお願いしたいと思います。

三島教育長

ほかにご覧いませんか。

それでは、ただ今報告のありました、報告第2号につきましては、報告のあったとおり承認することといたしますが、よろしいでしょうか。

(「はい」との声)

それでは次に、報告第3号「SOMPOボールゲームフェスタ2020イン網走について」を上程いたしますので、事務局から報告をお願いいたします。

スポーツ課長。

阿部スポーツ課長

報告第3号「SOMPOボールゲームフェスタ2020イン網走について」ご説明いたします。別添資料をご覧ください。

10月17日に一般社団法人日本トップリーグ連携機構と網走市の共催で開催した「SOMPOボールゲームフェスタ2020イン網走」について、参加した講師のうち3名が帰郷後、新型コロナウイルス感染症の陽性反応が確認されたと同機構からホームページで発表がありました。このことについて経過を報告いたします。

はじめに、イベントの概要ですが、「SOMPOボールゲームフェスタ」は、日本トップリーグ連携機構が主催し、地元自治体等が共催となり、小学生を対象にボールを扱う運動の楽しさを元トップアスリートと体感をしながら基本的技術の習得や技術力を向上させ、次世代の子供たちのスポーツライフを支援することを目的として、全国で開催されており、網走では初めての開催となりました。

10月17日の開催当日は、感染対策を種々講じながら実施し、午前の部に小学1から3年の親子33組66名が参加し、自宅でできる遊びを講師指導のもと、親子で体験しました。午後の部は小学4から6年児童が62名参加し、サッカー、ラグビー、ソフトボール、バレーボールの4つのボールゲームを講師の指導のもと体験しました。

つぎに、日本トップリーグ連携機構の発表内容ですが、別紙資料をご覧ください。

別紙1になりますが、10月27日の発表では、10月23日講師1名がPCR検査結果が陽性、その後10月26日講師2名もPCR検査の結果陽性と判定され、10月27日には同機構役員1名及び関係者1名、ほかの講師1名が濃厚接触者と判定されPCR検査を受け、この濃厚接触者と判定をされた3名は別紙2になりますが、10月29日、30日に更新された情報では全員陰性と判明したとの発表となっております。

また、同機構によると10月30日までに市民参加者の感染者及び濃厚接触者はないとの発表でありました。

つぎに、市の対応ですが、これらの発表内容は、同機構からの発表であり、市へ管轄保健所からの連絡等はなく、本事業の開催にあたり、十分な感染防止対策を講じるとともに、市民参加者の協力もあり、対策を徹底できたことが市民参加者の感染の発生を防ぐことにつながったものと考えておりました。

しかしながら、市に対し不安の声やお問い合わせをいただいたことから、11月17日に、参加いただいた児童、保護者の皆様ならびにお手伝いいただいたスポーツ推進委員の方へ、連絡が遅くなったお詫びの文書と日本トップリーグ連携機構の発表内容について、郵送により、お知らせをさせていただいたところです。

経過についての説明は以上となります。

三島教育長

ただいま、報告第3号について事務局から報告をさせていただきました。それにつきまして、ご質問あるいはご意見がございましたら、お受けしたいと思います。

ございませんか。

中山委員。

中山委員

情報の出し方、市民に濃厚接触者がいないこと、10月30日に日本トップリーグ連携機構が情報を出した時点で、市も情報を出すべきだったと思います。

三島教育長

社会教育部長。

吉村社会教育部長

今回の事案についてですが、トップリーグ機構からホームページで公表をすることの連絡と、その中身についてはトップリーグ側が事実として認識しているところを発表しますということでした。

市の方には、その後を含めて管轄保健所等からそういった情報等は

なく、その後の29日、30日のトップリーグ機構のホームページの更新においても、トップリーグ連携機構の事実確認に基づく更新ということでしたので、市としてはその時点では、我々が直接知りえた情報といたしますか、事実ということではないということで、30日までにトップリーグ機構がホームページを更新されたことに関して、特段の情報提供等を参加された方にもしなかったということがございました。

ただ、その後、参加者の方からもホームページを見たということで不安の声等がございまして、教育委員会として色々と協議した結果、遅くなったということで11月17日になりましたが、遅くなったお詫びとともにホームページの内容等に、参加者にお知らせをさせていただいたというところで、中山委員がおっしゃるご意見のとおり、そういった現状に対する連絡もないということももっと早いうちに参加者の方にお知らせするというのも不安を解消するために、早い対応が良かったのかというところは反省をもっているところでございます。

三島教育長

中山委員。

中山委員

多少なりとも、生徒さんの親御さんから聞こえてきたものですから、そういった意味で保健所の方から何もなかったからではなくて、こういったことが30日にでたのであれば、こちらの方から保健所に問い合わせたということもとれたと思うので、市民の安全を最初に考えていかれた方が良いと思います。今後は。

三島教育長

今回の件につきまして、何も情報を発信しなかったということについては教育委員会、市としても反省すべき点は反省していきたい。今後については、事実を公表していくと、何もしないのではなく。発表できる事実については発表していくといったようなことで、教育委員会としては主催事業についてはそのような取り扱いをしていきたいと考えております。

市全体としてどうするかということについては、市の中に対策本部がございまして、その中で議論をしていくということになりますので、市全体として情報の出し方をどうしていくかということについては早急に議論していく、対応していくということになるかと思っております。

今回については、講師3名から陽性反応が出たということをもっと早く参加した皆さんにお知らせすべきであったらと反省をさせていただいております。

ほかにございせんか。

伊藤委員。

伊藤委員

確認なのですが、情報が出て、不確定な情報だったために市民の皆さんが、参加された皆さんがそれを見て情報不足の中で不安になってこういう声が届いたということかと思ったのですが。市の方も情報の連絡がなかったのも、そういう認識がないから、濃厚接触者もいないということが出さなかったということだと思いますが、今後は情報が発信されないから何もなかったではなくて、情報を取りに行く姿勢で、情報を取りに行き適切な形で皆さんに情報をお届けするというふうに変えていくという認識でよろしいでしょうか。

三島教育長

社会教育部長。

吉村社会教育部長

色々なイベントがございますので一概には言えないと思いますが、今回のケースでいくと情報を取りに行くということになると、ではどこにということもございせんし、私たちとしては今回のケースにしては情報がない、網走市に直接の情報がないということを出すべきかどうかというところで、そういう部分と一緒に共催した部分が発表している事実についてもっと早くにお伝えすべきだったのかと反省しているところでございまして、例えば一般的なイベントについて情報をどう共有していくかという点については、先ほど教育長がお話されましたが、市全体にかかる議論に繋がってきますので、その辺は市全体として私たちからの提言ではないですが、そういった意見もあるということも議論の中に含めさせていただきたいと思ひます。

三島教育長

知っていただきたいのは、保健所、北海道等から出される情報は毎日公表されている情報から一歩も出ないということです。オホーツク振興局管内ということ以外、年齢、性別、非公表となった場合につきましては、網走で出たのか、北見で出たのか、どこで出たのかというのは全く知らされない、わからないという状況でありますので、仮に保健所へ具体的にもう少し教えてくださいと言っても、そこは出してくれない。

ただ保健所を持っている旭川とか小樽、札幌もそうですが、そういったところは市単位で発表されておりますので、それは保健所を自分のところで持っているので発表できる。網走については北海道の網走保健所が管轄ですので、ここからは発表のもの以外は知りえない状況にあるということです。このところをご理解いただいて、そういった中でどういった情報を出していけるかということも考え

ていかなければならない。

今回のケースについては主催者のもう一つの団体であるトップリーグ連携機構が機構側で知りえた情報として発表をされているということなので、同じく主催をした網走市でもトップリーグ連携機構からこういう発表がありましたということをもっと早くお伝えすべきだったという話はしております。

伊藤委員。

伊藤委員

市民感覚で、例えば市から当地域の保健所に念のために確認したのだけれども特に発信する証拠はなかったと言われましたという情報を伝えるべきではなかったかなと思っているので、何も連絡が来ていませんというのと、照会をして何も発信する情報はありませんと言われましたというのは、受け取る側の印象が全く違うので、確認はしたという事実はお伝えいただきたいと思いました。

三島教育長

ほかにございませつか。

よろしいでしょうか。

それでは、なければ、ただ今報告のありました報告第3号につきまして、報告のあったとお承認することとしてよろしいでしょうか。

(「はい」との声)

それではそのように取り扱わせていただきます。

次に、報告第4号「「あばしりまなび塾フェスティバル」10年後へのメッセージ紛失について」を上程いたしますので、事務局から説明をお願いいたします。

社会教育課長。

岩尾社会教育課長

別添の報告第4号資料によって説明をいたします。

報告第4号「あばしりまなび塾フェスティバル」10年後へのメッセージ紛失についてですが、「あばしり学び塾フェスティバルは市民の日頃の活動成果などを披露、体験してもらう、生涯学習の場として2003年より開催している行事であります。開館10周年に当たる2010年(平成22年)11月23日に開催した「あばしりまなび塾フェスティバル」実行委員会が主催、エコーセンターが共催となるものですが、この「エコーセンター開館10周年記念コーナー」において、来場いただいた子供たちを中心に「10年後の網走の姿」、「10年後の自分の姿」を予想するメッセージを募集し、紙製の箱に投函していただきました。

別紙1をご覧ください。投函していただいた紙製の箱の実際の写真です。別紙2をご覧ください。投函いただいたメッセージカードの様式です。

メッセージは10年間エコーセンターで保管し、2020年に11月23日に開封して、ご本人にお伝えすることを予定しておりました。

次に、紛失までの経過ですが、本年が開館20周年のメッセージ開封の年に当たることから、20周年記念展示の企画のためメッセージを入れた箱の再確認をしたところ、メッセージの紛失が判明したところでした。

メッセージは、2010年11月23日以降、箱に入れたままエコーセンター内の書庫に未開封のまま保管しておりました。

メッセージの紛失が判明した後、継続して書庫など館内をくまなく調査を行いましたが、見つけ出すことができませんでした。

メッセージは、過去に書庫整理をした際などに、箱ごと廃棄した可能性が高いと考えております。

次に対応でございますが、メッセージを投函した方が特定できないため、11月17日に報道発表を行い経過と謝罪をお伝えし、18日に市のホームページに経過とお詫び文を教育長名で掲載、19日にはエコーセンターほか、市役所、体育館などの掲示のほか、2010年当時小学生、幼児として来場した世代である中学、高校へお詫び文の掲示をご依頼申し上げました。

23日には市内全域への新聞折り込み、地元紙へのお詫び広告を行い、広く謝意をお伝えしてきました。

再発防止策についてですが、今回の紛失事案は、課内体制による確認業務の不備及び事務局担当者間の事務引継ぎの不備によるものと考えており、職員間のチェック体制の見直しと強化を図り、事務の適正執行と再発防止に努める所存でございます。

ご心配ご迷惑をおかけすることとなり、お詫びを申し上げます。

「あばしりまなび塾フェスティバル」10年後へのメッセージの紛失についてのご報告は以上となります。

三島教育長

ただいま、報告第4号につきまして事務局から報告がございました。これにつきまして、ご質問あるいはご意見がございましたら、お受けしたいと思います。

ございませんか。

伊藤委員。

伊藤委員

確認業務を今までやったものと改善していくという意味で、確認業務の不備と書かれていると思うのですが、具体的にどのようにされ

ていくのかお聞かせいただけますか。

三島教育長

社会教育課長。

岩尾社会教育課長

事務引継ぎが、事務担当者間で行っています。当然、それぞれ沢山事業がありますが、例えば異動の際にはございます。もちろん現在も書面で事務引継ぎはやっていますが、当然重要事項については書類の中にきちんと記載する、重要であることを記載する。係長、課長が後年度に影響を与えるようなものについては全員が複数できちんと引継ぎを行うということをまずやっていきたい。これは情報共有の問題なので情報共有の意識をきちんと高めていくということは職員間で共有したいと思っています。

三島教育長

伊藤委員。

伊藤委員

はい、ありがとうございます。
こういった机や椅子等の備品類も必ずチェックリストがあって備品管理表というものがあると思いますが、そういったものから漏れていたから年度末の確認から漏れていたと思うので、そういった紙ですとかデータに残して確認をすとかして、今一度見直していただければと思いました。以上です。

三島教育長

ほかにございせんか。
それでは、ただ今報告のありました報告第4号につきまして、報告のあったとおり承認することとしてよろしいでしょうか。

(「はい」との声)

それでは次に、報告第5号「学校給食について」を上程いたしますので、事務局から報告をお願いいたします。
学校教育部長。

小松学校教育課長

報告第5号「学校給食について」口頭により説明させていただきます。
学校給食調理場の一部集約及び調理場業務等の業務委託につきましては、6月4日開催の第5回教育委員の会議において、2月下旬以降説明会が実施できていない状況においては、令和3年4月からの実施は困難であると報告させていただき、6月19日の文教民生委員会においても同様に報告したところでございます。その後の経過についてご報告いたします。

実施時期を令和4年4月からとし、令和2年11月12日から対象校のPTA役員を中心に説明を開始しており、また説明を聞きたいとお集まりいただいた方々にも、説明しているところでございます。今後につきましては、対象校の保護者や対象以外の学校の保護者等に対して丁寧に説明をしていくこととしまして、情報発信につきましては、計画内容及び疑問に対するQ&A方式で市のホームページ上で情報発信していくこととしています。

また、これまでの説明会等の中では、学校給食についての情報交換する場の設置を要望する意見をいただいていたことから、学校給食における「食育の推進」「地産地消」「安全・安心の確保」「調理場運営」などについて、PTAの代表、生産者団体、校長会代表、栄養教諭、有識者、公募による委員などで構成する「網走市学校給食を考える懇話会」を設置し、学校給食の運営に関する事項や学校給食の目的達成を図るための必要事項について情報交換していくこととしています。

学校給食についての報告については以上です。

三島教育長

ただいま、報告第5号につきまして事務局から報告がありました。これについて、ご質問あるいはご意見がございましたら、お受けしたいと思います。

富永委員。

富永委員

私も給食関係の委員をやらせていただいていたことがありますが、小さい学校になりますと給食費は人数単位で、どうしても地方の小さい学校は割高になる。我々にしてみれば、こういう大きい調理場が出来て配送となったとしても値段が下がるのであればいいのかと思っている。具体的に反対している方の意見というのはどういうものが多いのでしょうか。

三島教育長

学校教育課長。

小松学校教育課長

反対する声もございますが、例えば小規模の調理場だけを委託に出せないかですとか、東部地区だけで、そこに白鳥台小学校を集約する形でできないかですとか、そのような意見や委託、民営化という部分で計画どおりになったとしても温かい給食を提供してほしいですとか、そのような意見が大体の意見でした。

小規模調理場の集約、教育委員会の方の計画しているスタイルにつきましては、やはり小さな調理場、調理員が少ない調理場について、やはり安定的に給食を供給していくという部分と効率化の部分を考えて計画しているものでございまして、そのような提案をいただ

くのですが、基本的には網走市教育委員会で計画した内容で進めていきたいという形で説明させていただいております。

三島教育長

反対されている大きな理由とございますか、お聞きしているのは集約して民間に委託になると給食の質が落ちるのではないかと、長時間配送することでおいしい給食が食べられなくなるのではないかと、安全・安心と給食の質の低下、あとはアレルギー対応が直接市の栄養教諭や栄養士が関わらなくなるということで非常に不安だといったこと、そういったことが反対の理由として聞かせていただいております。そこは、そうではなくて、このようにすれば給食の質を落とさないように、直接市が食材を調達するといったことや、アレルギー対応についても栄養教諭や先生方と委託を受けていただいた業者の責任者と綿密な打ち合わせ、書類での確認等を行いながらやっていく、今までどおりそこはきちんと対応していくというようなことなどを説明して理解を求めていくということになります。

ほかにご覧いただけますか。

よろしいでしょうか。

(「はい」との声)

それでは、報告第5号につきましては事務局から報告があったとおり承認することとさせていただきたいと思っております、よろしいでしょうか。

(「はい」との声)

以上で提出された案件については、全て終了いたしました。その他、案件以外で何かございましたら、ご発言をお願いします。

伊藤委員。

伊藤委員

新型コロナウイルスで、北海道内の色々な学校で学級閉鎖や学年閉鎖等といったニュースが報道されていますが、当市においてそのような状況が発生したときに、どんな体制で、どんなフローで進めていくのか対応していくのかというのを予め聞いておきたいのですが。

三島教育長

学校教育部次長。

小路谷学校教育部次長 新型コロナウイルス感染症対策につきましては、今、北海道がステージ3、札幌市がステージ4相当、北海道独自のものになっております。それを受けて11月17日付けで新型コロナウイルス感染症対策強化についてということで、道教委の学校長あてに通知があったものを受けて網走市としても各学校に対して学校における感染リスクの回避と学びの保障における指導を行うことについて通知をしているところです。例えば発熱等の風邪の症状がある場合、これは原因のレベル2になりまして、本人及び同居の家族を含むことにしております。そういった場合には登校しないように改めて指導することですとか、感染リスクの高い教室空間等については、衛生管理マニュアルを確認し遵守するようにすること、また昼食時は食事の前後の手洗いの徹底とともに机を向かい合わせにしないことで会話を控えること等について通知をしております。そういった場合におきまして、新たに感染が発覚した場合はまずは、その状況を確認して教育局と部局と保健所等と協議の上、どういった形にしていくなかというのを各学校協議の上で判断していく状況にあります。先日、教育局から通知がありましたので網走市としてもそういった形で行うことを考えております。

三島教育長 具体的に感染症の陽性反応が出た子供、先生が発生した場合については、その時点で直ちに子供たちは下校させるですとか、その日は休みにするとか、措置をとることになると思っております。その後について、当然消毒も行っていくということになりますが、保健所が調査に入りまして濃厚接触者が学校でどの程度、どの範囲にいるのかということが調査によって明らかになってくると思っておりますので、その結果、学級閉鎖にするのか、学年閉鎖にするのか、全校休業にするのかという判断は保健所の指示、または道教委の指示、また他市の例を参考にしながら速やかに判断をしていくということで考えております。

家族に濃厚接触者が出たという例も今年に入っていないわけではございませんので、その場合についても仮に陽性反応が出た場合にはどう対応していくかということは絶えず、そのケース、そのケースごとにシミュレーションを行いながら、手遅れにならないように想定しながら今進めているところでございます。

ほかにございませんか。

よろしいでしょうか、伊藤委員。

伊藤委員 はい、わかりました。ありがとうございます。

三島教育長

中山委員。

中山委員

9月の学校経営報告書からなのですが、西小学校の報告の中にスクールカウンセラーが年1回の訪問では中々効果が得られないということが書いてありました。年1回ではなくて、希望する学校には1回以上の訪問が認められないのかと思ひまして。

三島教育長

スクールカウンセラーについては、現在、配置されているのは3名で基本的には中学校が担当ということで、北海道の費用を使いながら今配置をしております、市の経費でも一部、その方々の人件費、給料、報酬を見ているところであります。教育委員会としては小学校からの要望もありますことから、できるだけ増やしていきたいということは思っているのですが、中学校を巡回しているということもあり、最低できる範囲でということで小学校も対応していただきたいということでお願いをしているのですが、小学校が中々行けていないという状況があります。1回では足りないという、ケースによっては複数回、カウンセラーを入れて方が良いというケースもございますので、その時は中学校と調整をしまして入っていただいているということもございますし、場合によっては違うカウンセラーを特別に、どうしてもカウンセリングを続けなければならない場合には違うカウンセラーをお願いして入っていただいているというケースもございます。昨年の予算要求でもカウンセラーの増員を市長の方に要求をさせていただきましたけれども、中々通らなかったということで、今年についてもそこは引き続き予算の要求をしていく、来年度に向けてということで今考えております。小学校を手厚くしていきたいということがあります。

中山委員

現状では3名で、中学校に入っているのですか。

三島教育長

15校あって、一人5校回るので手一杯かな。一人が一回で終わるということはあまりないものですから継続的に入っていく。先生方からの相談のケースも、子供のことに對してカウンセラーに先生からどうやって対応していったらいいかといったケースもありますし、保護者の方とのカウンセリングもありますし、そのケース、そのケースによります。中々、小学校には回っていけないという状況は認識しております。

中山委員

今後、減ることはないと思うので、カウンセリングが。ちゃんとしていってもらえれば。

三島教育長

カウンセラーがいるかといったらそこも難しいところがある。
ほかにございませんか。
よろしいでしょうか。
それでは以上をもちまして第9回網走市教育委員会を閉会させて
いただきます。お疲れ様でした。

【午後2時47分 閉会】